

Daily Market Report

ナフサ C&F JAPAN 評価値(ドル/MT)

C&F JAPAN 評価値

6月前半着	1,080.00	(0.75)
6月後半着	1,073.00	(0.25)
7月前半着	1,068.00	(0.25)
7月後半着	1,064.50	(0.25)
8月前半着	1,061.50	(±0.00)

OPEN SPEC NAPHTHA スポット取引プレミアム評価

(千葉到着ベース)	COUNT30日前	COUNT45日前
5月後半着	+14.50	+8.50
6月前半着	+11.75	+7.50
6月後半着	+8.00	+4.75
7月前半着	+5.75	+3.00

算出時の原油価格(ドル/bbl)

MONTH	JUN
WTI	111.64
BRENT	123.99

本日午前 10 時時点での理論上の計算値、()内は前営業日の評価値との比較

[マーケットコメント]

21 日のナフサ C&F JAPAN は 1075.75 ドルと大幅続伸、クラックスブレッドは続伸。アジアのファンダメンタルズは逼迫感がさらに強まっている。ナフサ価格が上昇する一方で全く上昇が見られない石化製品価格を背景に、マージン悪化を理由にクラッカーの減産が囁かれているが、大方のクラッカーは稼働を落とすことなくフル稼働の状態が続く、旺盛なナフサ需要が見られている。中東のリファイナーが定修から立ち上がり始めたことで、ナフサの供給が増えている可能性は高いが、旺盛な需要を満たすだけの十分な供給には至っていない模様。また、供給過剰であるはずの欧州市場でも余剰玉は見られず、タイトな状況が一向に収まらない状況にある。そのため、アジアのファンダメンタルズはタイト感が深刻化しているとのコンセンサスが高まり、期近玉を手当てする動きが活発になった。ブラツタイムにおいても買い手の勢いは衰えず、クラックスブレッドは続伸し、ナフサ価格もリーマンショック以来の高値を更新した。本日のアジア市場は、イースター休暇に伴い休場。

ナフサ MOF / 国産ナフサ価格予想値および評価値

	ナフサMOF価格				国産ナフサ価格	
	ドル/MT	ドル/円	円/KL	速・確報値/(前日比)	予想値/評価値	速報値/(前日比)
10-Oct	700.07	83.42	40,587	40,712		
10-Nov	747.36	81.39	42,273	42,222		
10-Dec	796.85	83.61	46,305	46,634		
10-4Q			43,079	43,101	45,100	45,100
11-Jan	857.45	82.91	49,410	49,202		
11-Feb	882.61	82.33	50,505	50,204		
11-Mar	891.37	82.49	51,101	(±0)		
11-1Q			50,120		52,100	(±0)
11-Apr	983.41	82.45	56,350	(±0)		
11-May	1,045.05	81.77	59,392	(383)		
11-Jun	1,075.49	81.78	61,129	(393)		
11-2Q			58,957		61,000	(200)
11-Jul	1,073.20	81.80	61,009	(406)		
11-Aug	1,069.49	81.81	60,810	(410)		
11-Sep	1,066.83	81.83	60,674	(409)		
11-3Q			60,831		62,800	(400)
11-Oct	1,064.75	81.86	60,573	(409)		
11-Nov	1,062.82	81.88	60,482	(409)		
11-Dec	1,061.02	81.91	60,401	(407)		
11-4Q			60,485		62,500	(400)
12-Jan	1,059.04	81.95	60,315	(408)		
12-Feb	1,056.61	81.98	60,204	(409)		
12-Mar	1,053.67	82.02	60,066	(407)		
12-1Q			60,195		62,200	(400)

予想値は太字での表記、MOF(国産)価格の評価値は予想値ではなく本日午前 10 時時点での理論上の計算値

(前日比)は前営業日の予想値および評価値との比較、換算比重は 0.695、為替レートは実勢為替相場に基づいた通関レートおよび為替先物マーケットから算出

[ナフサ MOF/国産ナフサ価格予想値および評価値コメント、マーケットコメント]

本日午前 10 時時点の 11 年 1Q 国産ナフサ予想値は 5 万 2100 円と予想値に変更はない。本日のナフサ C&F JAPAN 評価値は小動きとなること想定されるが、為替通関レートが大きく円高に振れたことが影響し、MOF 評価値は値を崩すことが見込まれる。11 年 2Q 国産ナフサは前営業日比 200 円安の 6 万 1000 円の評価。

11年1Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



11年2Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



太線は弊社予想値および評価値の推移、細線はナフサ C&F JAPAN に為替および比重(0.695)を乗じた数値の推移

Daily Market Report

原油・石油製品相場(前営業日)

Crude Oil(ドル/bbl)

		close	chg
NYMEX / WTI	JUN	112.29	(0.84)
	JUL	112.75	(0.84)
ICE / BRENT	JUN	123.99	(0.14)
	JUL	123.63	(0.13)

Oil Products(セント/gal)(ドル/MT)

		close	chg
NYMEX / RBOB	MAY	330.86	(3.13)
NYMEX / Heating Oil	MAY	319.92	(2.22)
ICE / Gas OIL	MAY	1,014.00	(6.50)

マーケットコメント

21日の原油相場は、ロンドン市場、NY市場ともに小幅続伸。ドル安や株高を背景に買い優勢の展開となった。グッドフライデーに伴う3連休を前に積極的な商いは手控えられ、ポジション整理中心の動きとなった。

ドルが対ユーロで約1年4ヶ月ぶりの安値に下落した。欧州中央銀行(ECB)の追加利上げへの観測や、米国の金融政策をめぐる懸念の高まり、世界経済成長持続への期待を背景とした高利回り通貨需要の拡大などから、ドル売り圧力に拍車がかかっている。イースター休暇を前にポジション整理から下げ渋ったものの、ドル売り基調を背景にコモディティ市場は買い優勢の展開となった。また、ハイテク関連を中心に米主要企業の好決算を受け株価が上昇し、リスク選好の流れが強まると同時に、引き続き景気回復への信頼感から石油需要の増大への期待が原油買いに繋がった。ただし、連休を控えていることから積極的な持ち高増加は手控えられ、概ねポジション整理中心の動きとなり、上昇局面では直近高値の113.46ドルが意識され上値が重くなる場面も見られた。

トピックス

「PPG、POP 値上げへ = 三洋化成工業」

三洋化成工業は19日、ポリウレタンなどの主原料であるポリプロピレングリコール(PPG)ならびにポリマーポリオール(POP)の価格について値上げすることを決定し、ユーザーとの交渉を開始したことを明らかにした。値上げ幅はプラス30円/kg以上で、実施時期は4月25日出荷分から。PPGならびにPOPの主原料であるプロピレンオキサイド(PO)価格が、ナフサ高騰を理由に4月から値上がり避けられない状況にあり、加えて燃料などの諸経費も上昇していることから、現行価格では安定供給の継続が困難であると判断し、値上げを決定した。

「PS 樹脂値上げへ = 東洋スチレン」

東洋スチレンは20日、ポリスチレン樹脂およびポリスチレン難燃樹脂の価格について価格改定を実施し、ユーザーとの交渉に入ったことを明らかにした。価格改定幅は、GPグレードがプラス16円/kg以上、HIグレードがプラス21円/kg以上、難燃グレードがプラス28円/kg以上で、改定時期は5月1日出荷分より。ナフサ、ベンゼン価格が依然高騰を続け、スチレンモノマー価格が上昇している。また、合成ゴムや三酸化アンチモンをはじめとする副資材の価格および用役費も急騰しており、コストが大幅に上昇している。引き続きコスト低減に取り組むも、自助努力をはるかに超えるものであり、安定供給と事業継続のためにも適正な価格体系の確立が不可欠であり、価格改定を実施する。

「オレフィン系合成樹脂複合材料値上げへ = 出光ライオンコンポジット」

出光興産とライオンの折半出資会社出光ライオンコンポジットは、オレフィン系合成樹脂複合材料について価格改定を実施することを明らかにした。価格改定幅は、一般グレードのタルク強化タイプがプラス30円/kg以上、タルク強化タイプ以外がプラス20円/kg以上、難燃グレードV-2タイプがプラス35円/kg以上、難燃グレードV-0タイプがプラス50円/kg以上で、改定時期は5月2日納入分より。ナフサ価格の高騰により主要原料であるポリプロピレンなどの合成樹脂価格も上昇しており、三酸化アンチモン等の難燃剤も価格上昇が続いている。合理化努力を継続するも、自助努力のみではコストアップの吸収は困難であり、価格改定をせざるを得ないと判断した。

「有機化学製品値上げへ = 昭和電工」

昭和電工は21日、有機化学製品の国内販売価格を引き上げることを決定し、ユーザーとの交渉を開始することを明らかにした。値上げ幅は、酢酸ビニルがプラス16円/kg、酢酸エチルがプラス13円/kg、酢酸ノルマルプロピルがプラス13円/kg、アリルアルコールがプラス18円/kgで、実施時期は5月1日出荷分より。最近の原油市況の状況から国産ナフサ価格は上昇傾向が続いており、また原油価格上昇の影響で燃料等の価格も引き上げられている。生産の効率化等コストダウンに努めるも、原燃料情勢の変動によるコスト上昇は自助努力のみでの吸収が困難であり、価格改定をせざるを得ないと判断した。

「オキソ誘導品値上げへ = JNC」

チッソ100%出資のJNCは21日、オキソ誘導品の値上げを実施することを明らかにした。対象製品は、ノルマルブチルアルデヒド(NBA)、イソブチルアルデヒド(IBA)、オクタノール(OA)、ノルマルブタノール(NBO)、イソブタノール(ISO)、酢酸ブチル、酢酸イソブチル、CS-12、CS-16、イソ酪酸イソブチル(IBIB)、オクチル酸で、価格改定幅はプラス22円/kg(ドラム缶等の容器使用の場合は別途プラス8円/kg以上)で、実施時期は5月1日納入分より。オキソ誘導品の原料であるナフサ価格が騰勢を強めており、第2四半期以降は6万3000円/KL程度の価格レベルになることが予想される。現在の製品価格はナフサ5万2000円/KLであり、コスト削減など採算改善に努めるも、今般のナフサ価格の高騰は自助努力で吸収できる範囲を超えており、安定供給の責務を果たすためにも価格改定をせざるを得ないと判断した。

Daily Market Report

「塩ビ樹脂値上げへ = 大洋塩ビ」

大洋塩ビは21日、塩化ビニル樹脂価格について価格修正を行うことを明らかにした。値上げ幅はプラス18円/kgで、実施時期は5月16日出荷分より。原油価格の高騰によりナフサ市況は一段と上昇する動きとなっており、また物流費やユーティリティ、副原料に至るまでコスト全般も急上昇している。これまでも価格修正を実施し、併せて省力化や物流効率を含めたコスト総点検を行い、塩ビ樹脂事業の健全かつ安定的な収益事業への改善を図ってきたが、現行価格で事業採算を確保することは困難であり、再生産可能な事業とすべく価格修正をせざるを得ないと判断した。

「PXプラント着工へ = SK総合化学」

韓国化学大手SK総合化学は20日、蔚山に100万トン/年のパラキシレン(PX)プラント建設を年内に着工することを明らかにした。韓国メディアによると、同社はJX日鉱日石エネルギーと合併で1兆ウォンを投じ、2013年までに新プラントを建設するための交渉を進めている。SK総合化学は、蔚山に75万8000トン/年のPXプラントを保有しており、プラントが新設されると175万トン/年の生産能力を備えることになる。両社は以前から合併についての議論は交わしていたが、震災などの影響を受け計画が遅れていた。

「NAP MOF PRICE AVE+2000」INDEX = ナフサ輸入価格単純平均 + ¥2000/KL」

期間(3ヶ月)		輸入価格単純平均 + ¥2000/KL	Amerex 占有率	期間(6ヶ月)		輸入価格単純平均 + ¥2000/KL	Amerex 占有率
10 Oct - 10 Dec		45,200	0%	10 Jul - 10 Dec		43,900	0%
10 Nov - 11 Jan		48,000	0%	10 Aug - 11 Jan		45,100	0%
10 Dec - 11 Feb		50,700	0%	10 Sep - 11 Feb		46,800	0%
11 Jan - 11 Mar		52,200	33%	10 Oct - 11 Mar		48,700	17%
11 Feb - 11 Apr		54,600	67%	10 Nov - 11 Apr		51,300	33%
11 Mar - 11 May		57,600	100%	10 Dec - 11 May		54,100	50%
11 Apr - 11 Jun		61,000	100%	11 Jan - 11 Jun		56,600	67%
11 May - 11 Jul		62,500	100%	11 Feb - 11 Jul		58,500	83%
11 Jun - 11 Aug		63,000	100%	11 Mar - 11 Aug		60,300	100%
11 Jul - 11 Sep		62,800	100%	11 Apr - 11 Sep		61,900	100%
11 Aug - 11 Oct		62,700	100%	11 May - 11 Oct		62,600	100%
11 Sep - 11 Nov		62,600	100%	11 Jun - 11 Nov		62,800	100%
11 Oct - 11 Dec		62,500	100%	11 Jul - 11 Dec		62,700	100%
11 Nov - 12 Jan		62,400	100%	11 Aug - 12 Jan		62,500	100%
11 Dec - 12 Feb		62,300	100%	11 Sep - 12 Feb		62,400	100%
12 Jan - 12 Mar		62,200	100%	11 Oct - 12 Mar		62,300	100%

算出には本日10時時点のナフサMOF評価値及び予想値を使用。Amerex占有率は上記算出におけるAmerexのナフサMOF評価値及び予想値の使用率を示す

「2月のフェノール樹脂輸入単価、安値トップ10」

2011年2月の熱硬化性樹脂のフェノール樹脂輸入実績は次のとおり。輸入数量は前月比316トン減の1232トン、輸入価額は3億6607万2000円となった。原産地別輸入数量の割合は、中国が44%、フランスが13%、韓国が13%、台湾が12%、ベルギーが10%となっている。価額を数量で割り返した2月の輸入単価(CIF JAPAN)の計算値は、前月比6円高の297円/kg。貿易統計上のフェノール樹脂は、用途での区別は出来ないが、税関別や国別に分けることで汎用性の高いグレードの輸入単価が概ね予想可能となる。貿易統計値およびそれを基に算出した単価の安値トップ10は、右表のとおり。なお、2月の通関レートは、1ドル=81.76~83.42円、日数による加重平均値は、1ドル=82.33円。

税関	国名	2011年2月		CIF JAPAN	
		数量 (kg)	価額 (1000円)	単価 (円/kg)	単価 (ドル/MT)
名古屋	台湾	6,000	894	149	1,786 - 1,822
金沢	中国	3,000	451	150	1,802 - 1,839
名古屋	シンガポール	5,000	875	175	2,098 - 2,140
水島	韓国	9,000	1,699	189	2,263 - 2,309
御前崎	台湾	40,000	7,600	190	2,278 - 2,324
横浜	ベルギー	20,000	3,886	194	2,329 - 2,376
清水	インドネシア	40,006	7,921	198	2,373 - 2,422
名古屋	ベルギー	10,000	2,027	203	2,430 - 2,479
門司	ベルギー	20,000	4,087	204	2,450 - 2,499
神戸	ベルギー	6,000	1,234	206	2,465 - 2,515

(出所:財務省)

「2月のPPS、PI、PEEK、PSU等輸入単価、安値トップ10」

2011年2月のスーパーエンブラのPPS、PI、PEEK、PSU等輸入実績は次のとおり。輸入数量は前月比157トン減の1081トン、輸入価額は14億3960万1000円となった。原産地別輸入数量の割合は、米国が40%、ドイツが30%、台湾が8%、ベトナムが5%、ベルギーが4%となっている。価額を数量で割り返した2月の輸入単価(CIF JAPAN)の計算値は、前月比61円高の1332円/kg。貿易統計上で税番3911.90.030はPPS、PI、PEEK、PSU等のスーパーエンブラが該当する。各品目の統計として特定は出来ないが、同スーパーエンブラ類の輸入単価を税関別や国別に分けることで概ね予想可能となる。貿易統計値およびそれを基に算出した単価の安値トップ10は、右表のとおり。なお、2月の通関レートは、1ドル=81.76~83.42円、日数による加重平均値は、1ドル=82.33円。

税関	国名	2011年2月		CIF JAPAN	
		数量 (kg)	価額 (1000円)	単価 (円/kg)	単価 (ドル/MT)
東京	ベトナム	58,800	11,733	200	2,392 - 2,441
博多	ドイツ	20,420	4,603	225	2,702 - 2,757
名古屋	台湾	84,000	20,076	239	2,865 - 2,923
神戸	オランダ	31,000	8,042	259	3,110 - 3,173
名古屋	中国	25,000	6,975	279	3,345 - 3,412
神戸	ベルギー	46,725	13,130	281	3,369 - 3,437
東京	フランス	9,750	3,510	360	4,316 - 4,403
横浜	米国	13,607	5,260	387	4,634 - 4,728
東京	中国	1,000	406	406	4,867 - 4,966
清水	ドイツ	58,000	28,834	497	5,959 - 6,080

(出所:財務省)